



2024.1.25 「一橋 ICS 一橋大学ビジネススクール国際企業戦略専攻」

一橋 ICS 冬季講座で地政学を講義中の田村耕太郎氏（シンガポール国立大学リークアンユースクール兼任教授）と未来を創る財団「社会・教育研究会」メンバー、近くの会合に出席された一橋 ICS 専攻長の大藪恵美氏にも参加いただき教育談義。

一橋大学と沖縄科学技術大学院大学は、文理融合による科学技術やビジネスの加速を目的とした、「OIST- 一橋インターンシップ・プログラム」を開始（2022年9月16日共同プレスリリース）。「先駆的な大学院大学である OIST は、科学の新たなフロンティアを開拓するため、分野の垣根を越えた研究を行っています」（OIST ホームページ）。

沖縄科学技術大学院（OIST）に国内外から優秀な研究者が集まるのは、高度な研究に取り組める環境が整っているからだ。

社会科学の殿堂を標ぼうしてきた一橋大学が、分野の垣根を超えた研究を推進すれば、相互に垣根を取り払う効果が期待できる。



未来を創る財団では、学びによる日本の再構築「教育フォーラム in 中津・大分」を計画している（2月23日）。<https://theoutlook-foundation.org/archives/1670>

左：大藪恵美専攻長と田村耕太郎氏を囲んで、石坂芳男（前理事長）、岡村進（理事）、麻植茂（前事務局長）@シーボニアメンズクラブ（霞が関・日比谷中日ビル）

財団設立の翌年 2014 年 8 月、理事長石坂、事務局長麻植でシンガポールを訪問。田村耕太郎氏にご案内いただき、シンガポール国立大学（NUS）、Yale-NUS School 訪問の他、その他諸施設を訪問、見学させていただいた。

「シンガポールに教育取材」<https://theoutlook-foundation.org/archives/70>

「シンガポール経済開発庁 EDB 見学」<https://theoutlook-foundation.org/archives/67>

一昨年には、当財団のオープンフォーラム「日本の低い生産性 原因に迫る一なにをなすべきか」、田村・磯山対談続篇「日本を成長させる人材をどう育てるか」に登壇いただいている。

学びこそが、日本再生のカギを握る。英語による同氏の講義を受講する日本人は少ない。地政学を学び、垣根を超える勇気を期待したい。